

道徳科学習指導略案（第3学年A組 男子16名，女子19名）

令和2年2月20日（木）6限

授業者：田中知子

- 1 主題名：自ら社会参画を（社会からの無言の賞賛を感じる感性）
- 2 指導内容：C（12）社会参画、公共の精神
- 3 本時のねらい：『本文を通して、社会参画の意識と社会の一員としての自覚を深め、進んで社会の発展のために努めようとする態度を養う。』
- 4 準備物：教科書、WS
- 5 本時の学習過程

生徒の学習活動及び発問・予想される生徒の反応	留意点 ○評価【観点】（方法） ※手立て
<p>・漫画の中にある言葉について自分を振り返って考える。 「自分の時間を自分のためだけに使ってもおもしろくない」と思ったことはあるか。*心情円を使用【視覚化】</p> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <ul style="list-style-type: none"> ・ほかの人のために自分の時間を使うという考えをしなかった。 ・ボランティアをしたときにそう感じたことがある。 </div>	<p>・留意点 ○評価【観点】（方法） ※手立て</p> <p>・心情円を使って、自分のことだけを考えて生活していることが多い自分に気付かせ、問題意識を持たせるようにする。</p>
<p>めあて：「雪かき」を通して考えを深めよう。【焦点化】</p>	
<p>・本文（P125～）を読む。</p> <p>① 雪かきをする人は、たくさんの人にも目撃されず、だれからも感謝の言葉すらかけられないのに、どのような思いでやっているのだろう。 補助：雪かきをする人が充実感を感じ、その作業にやりがいを感じているのはなぜだろうか。</p> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <ul style="list-style-type: none"> ・だれかがしなければ、転んだり、けがをする。 ・感謝されなくてもやらなければいけない仕事だ。 ・自分のやっていることは、だれかのために役にたっている。 </div> <p>② 主：内田氏は、どのような気持ちで「『雪かき仕事』に対する敬意が欠けている。」と言ったのだろう。</p> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <ul style="list-style-type: none"> ・雪かき仕事をしない人が多くなってきている。 ・自分の幸せだけを追い求める人が多く、だれかのためになる仕事をしようとするのが大切にされていない。 </div> <p>補助：「社会からの無言の賞賛を感じる感性」とは、どのような感性だろうか。</p> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <ul style="list-style-type: none"> ・だれからも感謝の言葉を受けなくても、だれかのために役に立っていると感じる感性。 </div> <p>③ どういう人々の、どのような心や感性が社会を支えているのだろう？個人→班で交流→（心情円の活用）【共有化】</p> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <ul style="list-style-type: none"> ・自分のことだけを考えるのではなく、だれかのために役に立とうという気持ちを持って仕事をしている人。 </div>	<p>・雪かきをしている人に対する疑問を投げかけ、その気持ちや思いに共感させる。「だれにも知られないんだったら、やらなくてもいいんじゃない？」</p> <p>※「青い鳥」のストーリーを簡単に紹介し、雪かき仕事との対比ができるようにする。</p> <p>・時間を十分に取って深く考えさせるとともに、他の生徒の考えをじっくり聞くことができるようにする。</p> <p>・必要に応じて補助発問を活用する。</p> <p>・話し合いを通して学んだ「社会参画・社会連帯」について、心情円を使って授業前と対比しながら道徳的実践意欲や態度を高める。</p>

山場：なるほど。自分のことだけを考えるのではなく、だれかのために役に立とうという気持ちが大切なんだ。よし、自分でもできることを考えてやってみよう。

④ 振り返り

<めあての評価>「雪かき」を通して考えを深めようとしている。

<ねらいの評価>本授業を通して、社会参画の意識と社会の一員としての自覚を深め、進んで社会の発展のために努めようと思えることができる。

「青い鳥」

ベルギーの劇作家 M. メーテルランクの夢幻的童話劇。

クリスマス前夜、チルチルとミチルの兄妹は、幸せの使いである青い鳥を求め、妖精に導かれて思い出の国、幸福の園、未来の国などをめぐるが、どこにも見つからず、目がさめてみると、枕元の鳥かごに青い鳥がいた。幸福は身近にあることを寓意した幻想的な童話劇で、広く読まれ上演されている。

月 日()

道徳

「社会からの無言の賞賛を感じる感性」

年 組 番 氏名()

① 雪かきをする人は、どのような思いでやっているのだろう。

② 内田氏は、どのような気持ちで『雪かき仕事』に対する敬意が欠けている。」と言ったのだろう。

③ どういう人々の、どのような（ 心や感性 ）が社会を支えているのだろう。

⑥ 振り返り